



コスモス

第76号
令和8年1月



撮影地：真庭市新庄
コメント：「深雪も届いてうれし郵便車」（吉井外科内科クリニック 吉井康哲先生）

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- かかりつけ医との連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



赤磐医師会病院

新年挨拶



公益社団法人赤磐医師会 会長 滝 澤 貴 昭



昨年は、物価高騰の中で全ての年代・全ての業種の方々にとって、日々の生活の中でさまざまな我慢を強いられる社会情勢であったものと思います。また連日マスコミやSNSでも報じられているように、医療機関、とりわけ急性期医療を担う病院では、経営状態の悪化が常態化しています。そのような中にあって赤磐医師会病院においては、幸い黒字経営を継続できています。医師会病院は地域医療支援病院・へき地医療拠点病院として、国・県からの補助金はいただいているが、一般的な公立病院の様に億単位・数千万単位というような巨額なものではなく、へき地に医師を派遣するなど課せられた役割を果たすための最小限のものであり、黒字経営はあくまで職員各々の頑張りによるところが大きいものと考えています。さて、高市政権にて各種の改革が進められる中にあって、昨年末に国会にて承認された補正予算や、来年度からの診療報酬の改定で、職員たちの努力のみでは克服しうるところが多少は補填されるのではないかと期待しています。

政権与党に加わっている日本維新の会の政策として強く推し進められているのは膨張を続ける医療費の見直しです。是正案の目玉としてOTC類似医薬品、すなわち風邪薬や湿布薬など処方箋が無くても一般の薬局やドラッグストアなどで購入可能な成分のものについては、医師の処方箋で調剤薬局で受け取った時に薬代の25%が上乗せされることになりそうです。患者様には、かなり大きな負担になりますが、それでも市販薬よりも安いことが想定されるので、必要な方への処方には差し支えなさそうです。念のためにもっておこうという無駄は解消される可能性が高いと思いますが、ただの風邪だからと過信して、市販薬にて済ませてしまい、医療機関への受診が遅れてしまうことによって重大な病気の初期を見逃してしまうようなことを我々医師は心配しています。

私ごとでありますが、昨年11月に突然の病気を発症して赤磐医師会病院にて緊急的な処置をしていただき速やかに回復することができました。医師でありながら、つくづく医師会病院のありがたさを痛感するとともに、今後もこのように素晴らしい病院が地域に根差した医療を提供し続けられるよう努力していかねばならないと思っています。

住民の皆様・患者様におかれましても、赤磐医師会病院存続のために頑張っている医師および全ての職員に対してご理解を賜り、励ましのお気持ちを持っていただければ幸いです。

住民の皆様のご多幸と職員一同の健康をお祈りいたします。

赤磐医師会病院 院長 佐藤敦彦



皆様、新年明けましておめでとうございます。

日本経済が長く続いたデフレからようやく脱却し、世の中が急速に変化している昨今ではありますが、コロナ禍を経て多くの病院の経営が逼迫しているという事実は、私たち医療関係者の多くにとって常識でした。しかし、いよいよ昨年末には全国の病院の約70%が（大学病院に限ればそのほとんど全てが）、赤字経営を余儀なくされているということが、報道を通じて多くの国民に知れ渡ることとなりました。

当院もその例に違わず、光熱水費や材料費、委託費等の高騰の影響によって必要経費の負担が増える一方、収入は診療報酬制度によって公定価格が定められているため、必要経費の増額分を転化することができないと言う、構造的な問題を抱えております。

先般、高市政権における補正予算が成立する見通しとなりましたが、その中に、こうした医療施設の窮状に対しても、一定の予算措置が図られることとなりました。その規模は、コロナ禍の際に支給された新型コロナ関連の補助金に相当する額であり、様々な経営指標の改善や、病院職員に対する処遇改善等に、一時的なカンフル剤としての効果が期待できそうです。

しかし、コロナ禍の際には新型コロナ患者を診療した医療施設に限定して補助金が支給されたのに対し、今回は病院の病床数に応じて一律に支給されるため、当院のように実際に新型コロナ診療に携わった病院からしてみると、前回ほどの経営的インパクトは期待できそうにありません。

こうした医療経営環境の中、当院も築40年を経過し、施設の老朽化に伴う新築・増改築を検討しておりましたが、建築費や人件費が高止まりしており、喫緊の重要課題であるにもかかわらず、なかなか議論が進まない状況となっております。

このように、病院運営に対する悩みが尽きることはございませんが、当院がこれまで果たしてきた地域医療支援病院としての役割はいささかも変わることは無く、継続して参る所存ですので、引き続き皆様方のご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

祝

友田 純先生

瑞宝中綬章受章おめでとうございます

令和7年秋の叙勲において、赤磐医師会病院診療顧問 友田 純先生が、永年に亘り医療活動に貢献されたご功績により、瑞宝中綬章の栄誉に輝かれました。

滝澤会長・佐藤院長が発起人となって、令和7年12月3日ホテルグランヴィア岡山を会場に、医師会員並びに当院職員の有志が参集し「叙勲受章祝賀会」を開催しました。当日は、友田先生の奥様にもご出席をいただき、出席者は実物の勲章に感嘆し、友田先生のご経験されたエピソード等をお聞きし、祝賀会は多くの笑顔に包まれました。



第36回赤磐医師会永年勤続者表彰式



赤磐医師会員医療機関の職員を対象に、令和7年11月15日に赤磐医師会病院会議室にて表彰式が執り行われました。

20年表彰は岡山東部脳神経外科東備クリニックより5名、長島病院より1名、10年表彰は岡山東部脳神経外科東備クリニックより2名、越宗医院より1名、近藤内科より1名、長島病院より3名が受賞されました。

式にあたり、赤磐医師会副会長 越宗龍一郎先生より祝辞をいただき、地域医療への協力や貢献、また自身が職員の方たちから励まされていることなどが述べられ、感謝の意が伝えされました。

受賞者代表として、長島病院の言語聴覚士 砂畠さんより、関係各位への感謝や今後の抱負などが謝辞として述べられました。

始めは少し緊張した面持ちで式に臨んでいた受賞者の皆さんも、最後は笑顔で式を終えました。

今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

第19回

赤磐医師会・医師会病院合同 ボウリング大会



令和7年9月19日(金)午後7時30分より、瀬戸内市の「コーシンボウル」にて医師会・病院合同ボウリング大会を開催しました。

会員医療機関からは先生方とその職員の方々、医師会病院からは2才のお子様から大人まで総勢119名という開催以来の参加人数となり、大変盛大な会となりました。

開会にあたり、病院長 佐藤敦彦先生より挨拶をいただき、那須眼科院長 那須好滋先生による始球式の後、子どもから大人まで、歓声をあげながらプレーを楽しみました。職場での姿とはまた違った一面を見る事ができ、参加者それぞれが親睦を深めるよい機会となりました。

表彰式では、優勝から飛び賞、キッズ賞など、多くの賞品が授与され、短い時間ではありましたが、笑いが絶えず、リフレッシュできました。



『発達障害児(者)への対応支援・理解』



令和7年10月30日に、接遇委員会主催の研修会を開催しました。旭川児童院・地域療育センターの保健師、荒木深沙妃先生に「発達障害児(者)への対応支援・理解」をテーマに、ご講演いただきました。病院で働く私たちが「こころを込めた対応」をするためには、様々な人の特性を知ることが大切だと感じ、今回の研修テーマを決めました。当日は66名の参加があり、発達障害への関心が高いことが分かりました。講義では、具体的な対応例等も教えていただき、「関り方で変わることが理解できた」「合理的配慮について学べて良かった」など、満足度の高い研修会となりました。



大規模地震発生に伴う 消防訓練

(令和7年11月13日実施)

今回の消防訓練は、大規模地震の発生により、院内厨房にて火災が発生したとの想定で、地震発生時の初期対応や火災発生時における消火器、消火栓を使用しての初期消火活動及び避難誘導訓練と当院の消防設備の確認、使用要領等の習得を目的として実施しました。

火災受信盤や非常放送、消火器の位置や消火栓の起動、操作方法など改めて確認し、訓練用消火器、消火栓を使用した放水訓練を行いました。

消防訓練では赤磐市消防本部の方より火災発生時の取るべき行動、防災の心掛けなどについて説明を頂きました。

避難時は慌てず冷静に患者さんを避難させること、消火栓では水圧が強いためノズルをしっかり持ち消火活動が必要なことなど多くの学びがありました。

当院は高齢の患者さんも多く、実際の災害現場にあっては大混乱の中での避難誘導が予想されますので、災害発生時の有事即応体制・防災設備・資機材の点検整備を日頃から維持管理をする必要性を強く感じました。



赤磐医師会病院 外来診療・検査担当表

令和8年1月1日より

	月	火	水	木	金
外来診療・健康診断	内科一診	藤原 敬士 ふじわら けいし	平井 通雄 ひらい みちお	藤原 敬士 ふじわら けいし	平井 通雄 ひらい みちお
	内科二診	栗原 淳 くりはら すなお	中村 真 なかむら まさと	ジョンソン実歌 ジョンソン 実歌	瀧川 雄貴 たきがわ ゆうき
	内科三診	津田 彰 つだ あきら	橋原隆之介 はしはらりょうのすけ		小西 祥平 こにし しょうへい
	内科午前 (予約外来)	灘 隆宏 なだ たかひろ (予約制)	佐藤 敦彦 さとう あつひこ (予約制)	友田 純 ともだ じゅん (予約制)	
	内科午後 (予約外来)	佐藤 敦彦 さとう あつひこ (予約制)		國富 恵実 くにとみ めぐみ	大村 大輔 おむら だいすけ
	外 科	片岡 正文 かたおか まさふみ (呼吸器・一般)	宮木 功次 みやぎ こうじ	荒木 宏之 あらき ひろゆき 仁熊 健文 じんくま たけふみ	片岡 正文 かたおか まさふみ (呼吸器・一般)
	整形外科	片山 信昭 かたやま のぶあき	※1 難波 和昌 なんば かずまさ	片山 信昭 かたやま のぶあき	片山 信昭 かたやま のぶあき (第2・4) 難波 和昌 なんば かずまさ
	リウマチ外来 (予約・紹介制)		※2 片山 信昭 かたやま のぶあき		
	上肢・手の外科 (予約・紹介制)				※3 今谷 潤也 いまやに じゅんや
	泌尿器科			※4 渡部 智文 わたなべ ともふみ	渡邊 豊彦 わたなべ とよひこ
	呼吸器内科 (予約・紹介制)		工藤健一郎 こうとう けんいちろう ※8 長崎 泰有 ながさき やすなり	藤原 慶一 ふじわら けいいち	松尾 潔 まつお きよし
	糖尿病内科 (予約・紹介制)	※5 大宮 照明 おおみや てるあき	※5 岡崎 悟 おかざき さとる	長谷川百花 はせがわ ももか	長谷川百花 はせがわ ももか
	循環器内科 (予約・紹介制)	近間 俊介 ちかま しゅんすけ	※6 上岡 赤木 うえおか あかぎ 亮達 りょうたつ		※7 赤木 亮達 あかぎ さとう
	腎臓内科 (予約・紹介制)	川北智英子 かわきた ちえこ	大宮 照明 おおみや てるあき		
	膠原病内科 (予約・紹介制)		※9 勝山 恵理 かつやま えり		
	脳神経内科 (予約・紹介制)				樹下 明典 きのした あきのり
	脳神経外科 (予約・紹介制)				山下 太郎 やました たろう
	健康診断	平井 通雄 ひらい みちお	草地 省藏 くさち しょうぞう	草地 省藏 くさち しょうぞう	担当医 ともだ じゅん

診療受付時間：午前8時30分～午前11時

整形外科	※1 火曜日	午後1時～午後3時
リウマチ外来	※2 火曜日	午後1時～午後3時
上肢・手の外科	※3 木曜日	午前9時30分～午前11時
泌尿器科	※4 水曜日	午前8時30分～午後12時
糖尿病内科	※5 月・火曜日	午後2時～午後4時
循環器内科	※6 火曜日	午前8時30分～午前11時 午後2時～午後4時
	※7 木曜日	午前8時30分～午前11時 午後1時30分～午後4時
呼吸器内科	※8 火曜日	午後2時～午後4時
膠原病内科	※9 火曜日	午後2時～午後4時

*都合により休診になることがあります。



- ミュニケーション(対話)
- △ マイル(笑顔)
- ピリティ(機敏性)
- △ キル(技術)

新年あけましておめでとうございます。今年は「丙午」(ひのえうま)です。太陽のように情熱や強さを象徴しエネルギーに満ちた年とされます。新しいことへの挑戦にも良いタイミングかもしれません。2026年が皆様におかれまして素敵な1年となりますように。

(編集部：塩見)

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1
TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946
HP <https://www.akaiwa-mah.jp/>
発行日 令和8年1月15日

